

ふるさと 資料紹介

= (37) =

古文書にみる
近世庶民のくらし⑤

遅刻の理由

天明年間の十一月のある日、
代官所から、問屋弥三衛門さ
んの所へ、五人の人足を明日
朝出すようにという指令が来
たため、早速、五人に連絡を
しておきました。

ところが、翌朝、三人が遅
刻。大変なお目玉をちようだ
いします。三人の遅刻の理由
は、次のようなものでした。
文蔵：二歳になる子どもが、
夜中になつても寝つかず、つ
い朝寝をした。

治吉：前日、宿方人足とし
て犬山に出向いた時、隣家で
話し込んでしまつて、翌朝寝
過ぎた。

磯吉：「その夜は雪ふり、
あばら屋にござ候えば、昼夜
の差別あい知れず」寝過ぎた、
とあります。

いずれにしても、今も昔も、
遅刻は、厳しいおしかりを受
けるということです。

今回は、次の方々から貴重
な資料を寄贈いただきました。
ありがとうございました。

(平成六年六月分)

○製糸機など六点

(座馬すま子さん／本郷町)

○戦前の米穀検査用具他七点

(桑原庄助さん／本郷町)

博物館建設のため各種の資
料を収集しています。市社会
教育課文化係(内線二六二)
まで情報をお寄せください。

お目玉をちようだ
いします。三人の遅
刻の理由は、次の
ようでした。

磯吉

(福田家文書・部分)

ふるさとの宝ものみっけ!